

令和8年1月9日
沖縄行政評価事務所

琉球大学で公的統計への理解を深める講義を実施します！

総務省は、2025年10月20日の「世界統計の日」※に開催する啓発活動の一環として、琉球大学にて、統計の重要性や、社会における公的統計の利活用等について学んでもらうことの目的で、「公的統計への理解を深める講義」を開催します。

沖縄県において、総務省が「世界統計の日」に開催する啓発活動を実施するのは、今回が初となります。

※国連総会決議により5年に1度の10月20日が「世界統計の日」と定められており、これに連れて世界各国において公的統計の重要性を認識しアピールするための行事が行われています。

【日時】 令和8年1月15日（木）12:50～14:20

【場所】 琉球大学文系講義棟（〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地）

※ 取材していただける場合は、本資料下部の照会先までご連絡ください。

※撮影の際、学生の顔が映らないようご配慮ください。

【内容及び講師】

1 国連行財政監督について

政策統括官（統計制度担当）室 国際統計管理官 永田 真一

2 e-Stat、jSTATMAPの活用等について

統計局統計システム管理官 管理官補佐 大八木 聰

3 E B P Mの推進について

政策統括官（統計制度担当）室 統計委員会担当室次長 赤谷 俊彦

（「世界統計の日」についての照会先）

総務省政策統括官（統計制度担当）室
担当：国際統計管理官室 山田（高）
電話：03-5273-1145（直通）
E-mail：dgpp_ss_intl@soumu.go.jp

（取材に係る照会先）

総務省沖縄行政評価事務所総務課
担当：佐藤、當山
電話：098-866-0145（代表）
E-mail：okn01@soumu.go.jp

(参考)

「世界統計の日」にちなんだ教育機関や地方自治体での講演活動

2025年10月20日は、国連総会で定められた5年に1度の「世界統計の日」です。

この日にちなみ、総務省では、若年層の統計への意識向上を狙い、大学や中高等学校などに職員が出向き、身近なテーマを交え統計に関連する講演を行っています。

●2025年6月2日 北海道情報大学

「政府統計の総合窓口(e-Stat)を用いた統計データの利活用方法の紹介」



2025年は5年に1度の「国勢調査」実施年でもあり、国内のすべての人と世帯の実態を把握し、各種行政施策等の基礎資料を得るために重要な調査であることなども学びました

●2025年10月20日 秋田県大仙市

「誰もが生き生きと共ににある社会を目指して
～世界統計の日に考える価値観や伝統～」



●2025年10月9日 お茶の水女子大学 「生き生きと共ににある社会を目指して」



■講演活動マップ

現在までの参加人数
約2,000人

